

学期	単元	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	朝のリレー	1 詩を音読する。 2 詩を読んで想像したことや、好きな言葉や表現を交流する。 3 詩の特徴を生かして音読する。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	授業観察 ノート 提出物 定期考査	2
	言葉に出会うために 声を屈ける 野原はうたう 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	1 国語で何を学ぶのかを考える。 2 音読・発表のしかたを理解する。 3 「野原はうたう」の二つの詩を音読する。 4 P18「書き留める」を読み、ノートの書き方の工夫を理解する。 5 P19「言葉を調べる」を読み、辞典・事典で言葉を調べる方法を理解する。 6 P20「続けてみよう」を読み、「言葉の手帳」を作る。 7 学習を振り返る。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ) ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。	授業観察 ノート 提出物 定期考査	3
	はじまりの風	1 作品を通読する。 2 作品の全体像と場面ごとの心情を捉える。 3 心情の変化を整理する。(課題2) 4 整理した内容を基に話し合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。	授業観察 ノート 提出物 定期考査	4
	季節のしおり 春	・春の植物や動物にまつわる言葉や、春の情景を詠んだ俳句や和歌、詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語集を豊かにしている。((1)ウ)	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	授業観察 ノート 提出物 定期考査	-
	【聞く】 情報を聞き取り、要点を伝える	1 情報を的確に聞き取り、要点を伝える必要がある場面を挙げる。 2 二次元コードの音声聞き、必要な情報をメモに取る。(やってみよう①) 3 ①のメモを基に、相手に伝える内容を整理する。(やってみよう②) 4 情報を的確に聞き取るためのポイントを確かめる。 5 学習を振り返る。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)	聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。	授業観察 ノート 提出物 定期考査	1
	言葉1 音声の仕組みや働き	1 導入の課題に取り組み、音声の仕組みや働きについて関心をもつ。 2 母音と子音について理解する。 3 音の高さ・強さについて理解する。 4 学習を振り返る。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)		声の出し方による伝わり方の違いを、試行錯誤しながら確認し、それらを生かして音声の働きや仕組みについて理解を深めようとしている。	授業観察 ノート 提出物 定期考査	1
	話の構成を工夫しよう 一枚の写真をとりにスピーチをする	1 スピーチの材料を集める。 2 話の構成を考え、練習する。 3 スピーチの会を開く。 4 学習を振り返る。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)	・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	授業観察 ノート 提出物 定期考査	4

前期	漢字 1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	1 導入部分を読み、漢字の組み立てに興味をもつ。 2 偏旁冠脚など漢字を組み立てている部分について理解する。 3 部首について理解する。 4 漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。 5 P40「漢字に親しもう1」の問題に取り組む。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業観察 ノート 提出物 定期考査	1
	ダイコンは大きな根?	1 本文を通読する。 2 文章の中心となる部分を捉える。(課題1) 3 段落の役割について考える。(課題2) 4 筆者の説明のしかたについて話し合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	文章の中心的部分と付加的部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。文章の中心的部分と付加的部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	2
	ちょっと立ち止まって	1 本文を通読する。 2 文章の構成に着目し、要旨を捉える。 3 文章の構成に着目し、序論・本論・結論の役割を考える。 4 考えたことを伝え合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ	「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	3
	情報整理の レッスン 比較・分類	1 学習の目的を理解する。 2 情報を比較・分類する方法を確かめる。 3 問題1～2に取り組む。 4 学習を振り返る。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ		情報の整理のしかたについて積極的に理解を深め、学習したことを生かして練習問題に取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く	1 情報を集め、整理する。 2 構成を考える。 3 文章にまとめる。 4 交流する。 5 学習を振り返る。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	4
	言葉 2 指示する語句と接続する語句	1 導入の課題に取り組み、指示する語句や接続する語句について関心をもつ。 2 指示する語句について理解する。 3 接続する語句について理解する。 4 学習したことを日常につなぐ。	指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ		今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	空の詩 三編 「書く」詩の創作教室	1 三つの詩を音読する。 2 詩について、感じたことを交流する。 3 詩の情景や表現の効果について話し合う。 4 最も印象に残った詩について発表する。(課題3) 5 学習を振り返る。 6 空の詩を作り、「空の詩 三編」に加える。	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解使っている。(1)オ)	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	詩の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	3

前期	言葉3 ささまざまな表現技法	1 導入の例を読み、表現による印象の違いを挙げる。 2 P68「比喩(たとえ)」を読み、比喩の種類による印象の違いを考える。 3 P69「反復」「倒置」、P70「体言止め」「省略」「対句」を読み、表現技法によるリズムの違いや効果について考える。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。((1)オ)		比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って、積極的に理解を深めようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	比喩で広がる言葉の世界	1 本文を通読する。 2 文章の中心となる部分を見つけ、要旨を捉える。 3 比喩について理解を深める。(課題2) 4 生活への生かし方を考え、伝え合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	比喩などの表現の技法を理解している。((1)オ) →文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア)	進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	2
	文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう 文法1 言葉の単位	1 P75の導入や教材文を読み、言葉のまとまりについて考える。 2 P242「文法1 言葉の単位」を読む。	単語の類別について理解している。((1)エ) →文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて理解している。		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる言葉の単位について理解しようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	語彙を豊かに心情を表す言葉	1 学習の目的を理解する。 2 印象に残った出来事について、そのときの気持ちをひと言で表す。 3 気持ちを表す言葉を集める。 4 気持ちにぴったりの言葉を選ぶ。 5 学習を振り返る。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)		今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	情報収集の達人になろう コラム 著作権について知ろう	1 調べるテーマを決める。 2 図書館やウェブサイト情報を集める。 3 情報を読み取る。 4 行動宣言をまとめる。 5 著作権について知る。 6 学習を振り返る。	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	3
	読書を楽しむ	1 教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。 2「ポップ作り」、「読書会」、「読書記録」の中から、夏休みに行う活動を選ぶ。 3 活動の内容に沿って、見通しを立てる。 4 ポップ、読書会のメモや記録、読書記録を提出する。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)		読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ 読書案内 本の世界を広げよう コラム 本との出会い	1「本の中の中学生」の作品を読む。 2 気に入った作品とその理由を友達と共有する。 3 P90「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	進んで文章を読み、理解したことに基づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	季節のしおり 夏	・夏の植物や動物にまつわる言葉や、夏の情景を詠んだ詩や俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	-

前期	大人になれなかった弟たちに……	1 作品を通読する。 2 描写に着目して登場人物の心情を捉える。 3 題名のもつ意味について考える。(課題2) 4 表記に込められた、作者の意図を考える。 5 思いを伝える朗読会をする。(課題3) 6 学習を振り返る。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)	登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている	授業観察 ノート、提出物 定期考査	4
	星の花が降るころに	1 作品を通読する。 2「私」を中心に作品の内容を押さえる。 3 場面や描写を結び付けて内容を解釈する。(課題2) 4 印象に残った場面や描写を語り合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(C(1)ウ)	進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	5
	項目を立てて書こう 案内文を書く	1 情報を整理し、構成を考える。 2 案内文を書く。 3 学習を振り返る	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	3
	【推敲】読み手の立場に立つ	1 読み手の立場に立つて、案内文を推敲する。 2 書き換えた案内文について、伝えようとする内容が正確に、わかりやすく書き表されているか、友達と話し合う。 3 学習を振り返る。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	「書くこと」において、読み手の立場に立つて、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)	粘り強く文章を推敲し、今までの学習を生かして案内文を書き改めようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	言葉4 方言と共通語	1 導入の課題に取り組み、地域による言葉の違いについて関心をもつ。 2 教材文を読み、方言と共通語の違いを理解する。 3 P120「消滅危機言語」を読み、日本における消滅危機言語について知る。	共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ)		今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
後期	聞き上手になる 質問で話を引き出す漢字の音訓	1 聞き方や質問のしかたを学ぶ。 2 二人一組で対話の練習をする。 3 学習を振り返る。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。((1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	2
	漢字2 漢字の音訓 漢字に親しもう2	1 導入部分を読み、漢字の読みには「音」と「訓」があることを理解する。 2「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。 3 漢和辞典を利用して、練習問題に取り組み。 4 P126「漢字に親しもう2」の問題に取り組み。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	1 本文を通読する。 2 文章の構成と内容を捉える。 3 文章の構成や展開の効果を、根拠を明確にして考える。 4 文章を読んで、考えたことを話し合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	5

後期	思考のレッスン1 意見と根拠	1 P138上段の文章を読み、意見の根拠を明確に示すことの大切さを理解する。 2 適切な根拠について考える。 3 意見と根拠の結び付きを考える。 4 学習を振り返る。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)		根拠の客観性や理由づけに無理がないかを積極的に検討し、学習課題に沿って、意見と根拠の関係について理解を深めようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	根拠を明確にして書こう 資料を引用して報告する	1 課題を決め、調べる。 2 構成を考える。 3 レポートを書く。 4 レポートを読み合い、交流する。 5 学習を振り返る。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	5
	漢字に親しもう3	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	文法への扉2 言葉の関係を考えよう 文法2 文の組み立て	1 P147の導入や教材文を読み、言葉の関係について考える。 2 P246「文法2 文の組み立て」を読み、「文節どうしの関係」「連文節」「文の成分」「文の組み立て」を理解する。	単語の類別について理解している。((1)エ)		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	2
	聴きひたる 大阿蘇	1 朗読音声を聴き、言葉の響きやリズムを味わう。 2 詩の朗読を聞いて感じたことや考えたことを交流する。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)		進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	1
	季節のしおり 秋	秋の植物や動物にまつわる言葉や、秋の情景を詠んだ詩や和歌、俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	-
	古典の世界 音読を楽しむ いろは歌	1 P152「古典の世界」を読み、3年間の古典学習について見通しをもつ。 2 P154「いろは歌」を音読する。	・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。((3)イ) ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア)		積極的に古文を繰り返し音読し、3年間の学習の見通しをもって、古典の世界に親しもうとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	蓬萊の玉の枝 ——「竹取物語」から	1 古典の文章を音読し、現代の文章との違いを確かめる。 2 現代語訳やP169「古典の言葉」を参考に、現代の文章との違いを確かめる。(課題1-②) 3 作品の内容を読み取り、古典の世界を想像する。(課題2) 4 学習を振り返る。	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。((3)ア)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめるものになっている。(C(1)オ)	進んで古文を音読し、今までの学習を生かして描かれている古典の世界を想像しようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	4

後期	今に生きる言葉 [書く] 故事成語を使って体験文を書こう	1 漢文を、リズムを味わいながら音読する。(課題1) 2 本文を読み、故事成語について理解する。 3 自分の生活と結び付けて考える。(課題3) 4 学習を振り返る。	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	授業観察ノート、提出物 定期考査	3
	「不便」の価値を見つめ直す [書く] 筆者の主張に対する自分の意見を書こう	1 本文を通読し、内容を捉える。 2 本文を要約し、筆者の主張について検討する。 3 筆者の主張に対する自分の意見を書く。(課題3) 4 学習を振り返る。	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。	授業観察ワークシート 提出物	4
	漢字に親しもう4	1 新出漢字を確認する。 2 練習問題に取り組む。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)		学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業観察ノート、提出物 定期考査	1
	「話し合い(進行)」 進め方について考えよう	1 二次元コードの動画を視聴し、「やってみよう」①②に取り組む。 2 P190「よりよい話し合いのために」を読み、話し合うときに効果的な工夫について理解する。 3 学習を振り返る	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) →動画を視聴し、話題や展開を捉えながら話し合うための工夫について、自分の考えをまとめている。	進んで話題や展開を捉え、学習課題に沿って、話し合いをよりよく進めるために気をつけることについて、考えをまとめようとしている。	授業観察ノート、提出物 定期考査	1
	季節のしおり 冬	・冬の植物や動物にまつわる言葉や、冬の情景を詠んだ詩や短歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	授業観察ワークシート 提出物	-
	話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる	1 話し合いの目的と話題を確認する。 2 自分の意見をまとめる。 3 グループで語り合う。 4 話し合いを振り返る。 5 学習を振り返る。	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)	積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。	授業観察ノート、提出物 定期考査	4
	研究の現場にようこそ 四百年のスローライフ はやぶさ2 最強ミッションの真実	1「四百年のスローライフ」はやぶさ2 最強ミッションの真実」を通読する。 2 感想を伝え合う。 3 P202「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	授業観察ノート、提出物 定期考査	1

後期	少年の日の思い出 [書く]別の人物の視点から文章を書き換えよう 漢字に親しもう5	1 作品を通読する。 2 作品の展開を捉える。(課題1) 3 表現に着目して、「僕」の心情の変化をまとめる。 4 別の人物の視点から文章を書き換える。(課題3) 5 学習を振り返る。 6 P222「漢字に親しもう5」に取り組む。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業観察 ノート、提出物 定期考査	7
	文法への扉3 単語の性質を見つけよう 文法3 単語の分類	1 P223の例題に取り組み、単語の性質について考える。 2 P251「文法3 単語の分類」を読み、「自立語・付属語」・「活用の有無」、「品詞」、「体言と用言」について理解する。	単語の類別について理解している。((1)エ)		授業観察 ワークシート 提出物	2
	二十歳になった日	1 作品を通読する。 2 随筆の内容を捉える。(課題1) 3 構成や表現の効果について考える。 4 自分が考える表現の効果について語り合う。(課題3) 5 学習を振り返る。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) →本文中の具体的な記述を挙げながら、構成の工夫や表現の効果について考えている。	授業観察 ワークシート 提出物	4
	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	1 随筆の題材を選ぶ。 2 材料を書き出し、整理する。 3 構成を考える。 4 随筆を書く。 5 随筆を読み合う。 6 学習を振り返る。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)	・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	授業観察 定期考査 ワークシート	5
	漢字3 漢字の成り立ち	1 漢字の成り立ちについて理解する。 2 漢和辞典を利用して練習問題を解き、漢字の成り立ちを調べ、分類する。	学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)		授業観察 ノート、提出物 定期考査	1
	一年間の学びを振り返ろう 要点を資料にまとめ、発表する	1 観点を決め、学習を振り返る。 2 情報を整理し、発表内容を決める。 3 発表用資料を作る。 4 グループの中で発表する。 5 学習を振り返る。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)	・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	授業観察 ワークシート 提出物	4
	ぼくがここに	1 詩を読み、印象に残った表現を発表する。(課題1) 2 表現の意味や、表現技法について考える。 3 作者の思いについて語り合う。(課題3) 4 学習を振り返る。	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(C(1)オ)	授業観察 ワークシート 提出物	2

後期	国語の力試し	1 P263-266の問題に取り組む。 2 P262の二次元コードから、発展問題に取り組む。 3 振り返る。	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解使っている。(1)オ) ・音読に必要な文語のきまりを知り、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C(1)ア) ・「読むこと」において、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)	今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。	授業観察 ワークシート 提出物	3
評価の重み付け		33%	33%	33%			
観点別評価規準		A:教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……達成率80%以上 B:教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……達成率50%以上80%未満 C:教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……達成率50%未満					
評価の基準		5:十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも……90%以上の達成率である場合 4:十分満足できると判断されるもの……80%以上90%未満の達成率である場合 3:おおむね満足できると判断されるもの……50%以上80%未満の達成率である場合 2:努力を要すると判断されるもの……20%以上50%未満の達成率である場合 1:一層努力を要すると判断されるもの……20%未満の達成率である場合					

学期	単元	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	漢字を分解してみよう	1 教科書のイラストを見て、漢字は点や画の組み合わせでできていることを確かめる。 2 漢字を構成する点画の名前と筆使いのポイントを確かめる。 3 穂先の向きと筆圧に気をつけて、小学校で学習した点画を毛筆で書く。	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。	点画を書くなかで、穂先の向きや筆圧などを確かめている。	進んで①穂先の向きや筆圧などを確かめ③、学習課題に沿って②点画を書こうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	2
	漢字の筆使い	1 漢字を構成する点画の名前を教科書に書き込む。 2 「学びのカギ」を見て、漢字の筆使いのポイントを確かめる。 3 漢字の筆使いに注意して、毛筆で「天地」を書く。 4 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「天地」「春風」「挑戦」を書く。	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。	毛筆で「天地」を書くなかで、漢字の筆使いを確かめている。	進んで①漢字の筆使いに注意し③、学習課題に沿って②「天地」を書こうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	
	楷書に調和する仮名(いろは歌)	1 「いろは歌」の成立や平仮名の字源について理解する。 2 「学びのカギ」を見て、楷書に調和する仮名の筆使いと字形のポイントを確かめる。 3 「結び」の筆使いを確かめる。 4 墨のすり方を確かめる。 5 楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、小筆で「いろは歌」を書く。	楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。	小筆で「いろは歌」を書くなかで、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。	積極的に①楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して③、学習課題に沿って②「いろは歌」を書こうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	2
	文字の大きさと配列(俳句)	1 教科書P46の「五月雨を…」を見て、読みやすくするために直すところを考え、教科書に書き込む。 2 「学びのカギ」を見て、文や文章を読みやすく書くための、文字の大きさや配列のポイントを確かめる。 3 文字の大きさと配列を意識して、小筆で「五月雨を…」を書く。	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。	決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで、文字の大きさ、配列などを確かめている。	進んで①用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え③、学習課題に沿って②小筆で俳句を書こうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	2
	[コラム]文字の歴史を探る	1 漢字には3000年以上の歴史があり、時代とともにさまざまな書体が誕生したことを知る。 2 日本独自の文字である仮名が、漢字を元にして誕生したことを知る。 3 篆書・隷書・草書の身近な使用例を探し、文字について興味を深める。	漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。	文字の大きな歴史を確かめている。	積極的に①文字の歴史について知ろうとし③、学習課題に沿って②身近な使用例を調べようとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	1
	行書の特徴	1 楷書と行書で書かれた「緑」を比較して違いを見つけ、話し合う。 2 書く速さを意識して、「緑」を一画ずつ丁寧に硬筆で書いた後、「緑」をできるだけ速く硬筆で書く。 3 「学びのカギ」を見て、行書の筆使いの特徴を理解する。	楷書と行書の違いや、漢字の行書の筆使いの特徴を理解している。	速さを意識して書き比べる活動のなかで、両者の違いを確かめている。	積極的に①速く書いたときの文字の特徴を捉え③、学習の見通しをもって②楷書と行書の違いや行書の筆使いの特徴を見つけようとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	2
	行書スイッチを入れよう	1 行書を書くときに意識する四つの「行書スイッチ」を知る。 2 行書で書かれた「緑」を指でなぞり、速く整えて書くための行書の特徴を確かめる。 3 「学びのカギ」を見て、行書の点画や筆順の特徴を理解する。 4 筆脈とは何かを知る。	漢字の行書の点画や筆順の特徴を理解している。	行書で書かれた「緑」をなぞるなかで、行書の点画や筆使いの特徴を確かめている。	積極的に①行書の点画や筆順の特徴を考え③、学習課題に沿って②速く整えて書くための行書の特徴を押さえようとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	
後期	点画の変化	1 楷書と行書で書かれた「大木」を比較して、点画(終筆の形)が変化している部分を鉛筆で囲み、形が変化する理由を話し合う。 2 「学びのカギ」を見て、点画の終筆の形が変化する理由と、主な変化のしかたを確かめる。 3 行書には多様な書き方があることを理解する。 4 点画の終筆の形の変化を意識して、毛筆で「大木」を書く。 5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「大木」「天文」「北西」を書く。	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。	毛筆で「大木」を書くなかで、行書の特徴<点画の変化>を確かめている。	進んで①行書の書き方(点画の変化)を理解し③、学習課題に沿って②「大木」を書こうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	3

後期	点画の連続	1 楷書と行書で書かれた「日光」を比較して、点画が連続している部分を鉛筆で囲み、点画が連続する理由を話し合う。 2 「学びのカギ」を見て、点画が連続する理由と、主な連続のしかたを確認する。 3 点画を連続させるときの留意点を理解する。 4 点画の連続を意識して、毛筆で「日光」を書く。 5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「日光」「文庫」「規則」を書く。	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。	毛筆で「日光」を書くなかで、行書の特徴<点画の連続>を確かめている。	進んで①行書の書き方(点画の連続)を理解し③、学習課題に沿って②「日光」を書こうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	3
	季節のしおり ①	1 季節にまつわる詩歌や言葉を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと(楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列/行書の特徴)に注意して、季節の言葉を硬筆でなぞる。点画の終筆の形が変化する理由と、主な変化の仕方を確認する。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②季節の言葉をなぞろうとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	1
	情報収集の達人になろう	1 テーマを決めて情報を集め、資料から正しく情報を読み取り、整理する。 2 教科書P64の例を見て、集めた情報をノートにまとめる書き方を理解する。 3 これまでに学習したこと(漢字の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列)を生かして、ノートに記録する。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	情報をノートに記録する活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	進んで①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②集めた情報をノートにまとめようとしている④。	授業観察 作品 ワークシート	適宜
評価の重み付け			33%	33%	33%		
観点別評価規準		A:教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……達成率80%以上 B:教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……達成率50%以上80%未満 C:教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……達成率50%未満					
評価の基準		5:十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの……90%以上の達成率である場合 4:十分満足できると判断されるもの……80%以上90%未満の達成率である場合 3:おおむね満足できると判断されるもの……50%以上80%未満の達成率である場合 2:努力を要すると判断されるもの……20%以上50%未満の達成率である場合 1:一層努力を要すると判断されるもの……20%未満の達成率である場合					

第7学年 数学科 年間授業計画

月		章	時数	節	
4	前期(68時間)	0 章 算数から数学へ	4	〈とびら〉 どんなきまりがあるのかな？	
		4 時間		1 節 整数の性質	
		1 章 数の世界をひろげよう	4	〈とびら〉 どんな数が入るのかな？	
[正負の数]		1 節 正負の数			
25 時間		2 節 加法と減法			
5			10	3 節 乗法と除法	
			2	4 節 正負の数の利用	
6			1	章の問題 A	
			—	章の問題 B	
				p.624 ★他教科関連(地理)	
		2 章 数学のことばを身につけよう		8	〈とびら〉 棒は何本必要かな？
		[文字と式]	1 節 文字を使った式		
		18 時間	6	2 節 文字式の計算	
		7		3	3 節 文字式の利用
				1	章の問題 A
			—	章の問題 B	
3 章 未知の数の求め方を考えよう			7	〈とびら〉 何個採れたのかな？	
				1 節 方程式とその解き方	
9		[方程式]	6	2 節 1 次方程式の利用	
		14 時間		p.111 問 4 ★他教科関連(地理)	
				〈数学×スポーツ栄養士〉	
			—	章の問題 A	
			—	章の問題 B	
				p.1167 ★他教科関連(保健体育)	
10		4 章 数量の関係を調べて問題を解決しよう	5	〈とびら〉 どれくらい時間がかかるのかな？	
		[比例と反比例]		1 節 関数と比例・反比例	
		22 時間	7	2 節 比例の性質と調べ方	
11	後期(72時間)		6	3 節 反比例の性質と調べ方	
			3	4 節 比例と反比例の利用	
			1	章の問題 A	

12			—	章の問題 B
		5 章 平面図形の見方をひろげよう	6	〈とびら〉 どんな模様かな？
		[平面図形]		1 節 図形の移動
		17 時間		p.167 数学のまど ★他教科関連 (家庭)
			8	2 節 基本の作図
			2	3 節 おうぎ形
			—	〈数学×伝統工芸士〉
			1	章の問題 A
			—	章の問題 B
				p.1893 ★他教科関連 (家庭)
				p.1904 ★他教科関連 (保健体育)
		6 章 立体の見方をひろげよう	3	〈とびら〉 どちらも同じ形なのかな？
1		[空間図形]		1 節 いろいろな立体
		18 時間	<u>8</u>	2 節 立体の見方と調べ方
			5	3 節 立体の体積と表面積
2			1	章の問題 A
			—	章の問題 B
		7 章 データを活用して判断しよう	<u>3</u>	〈とびら〉 チームを強くするためには…？
		[データの分析と活用]		1 節 データの整理と分析
		11 時間	<u>1</u>	2 節 データの活用
			<u>2</u>	3 節 ことがらの起こりやすさ
			1	章の問題 A、章の問題 B
3				
		予備	<u>1</u>	
合計			126	

学期	単元	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	Unit 0 Nice to Meet You Sounds and Letters 0	小学校で習った表現 ・あいさつなど、やり取り アルファベットの読み方 ・音読み ・名詞読み	【知識】 あいさつや好きなものを表す文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 あいさつや好きなものを表す文の理解をもとに、相手面や朝のあいさつをしたり、好きなものを表す文をたずねたりする技能を身につけている。	【知識】 相手の手と自分のことを知るために、あいさつをして名前を伝え合ったり、好きなものについて、簡単な疑問句や文を用いて質問でたずねたり答えたりしている。	【知識】 相手の手と自分のことを知るために、あいさつをして名前を伝え合ったり、好きなものについて、簡単な疑問句や文を用いて質問でたずねたり答えたりしようとしている。	・英語活動への取り組み ・自分の名前と年齢と好きな食べ物を、出席表やスローガンなどについて質問できる。	3
	Unit 1 Hello, Everyone! Sounds and Letters 1	・自己紹介 ・相手のやり取り 【表現】 質問する、答える、繰り返す、相づちを打つ、認める、礼を言う 【文法】 一般動詞	【知識】 自己紹介や一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 自己紹介や一般動詞を用いた文の理解をもとに、おたがいの名前や好きなものなどについて、伝えたり、たずねたりする技能を身につけている。	【知識】 おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、おたがいのことを考えや質問する、簡単な疑問句や文を用いて質問で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	【知識】 おたがいのことをよりよく知るために、名前や好きなものなどについて、おたがいのことを考えや質問する、簡単な疑問句や文を用いて質問で伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	・英語活動への取り組み ・自分の名前と年齢と好きな食べ物を、出席表やスローガンなどについて質問できる。	9
	Unit 2 Our New Teacher Sounds and Letters 2	・アルファベットが読める ・身近な人やものについて 【表現】 質問する、答える、繰り返す、相づちを打つ 【文法】 This (That) is ... (name) 【文法】 (What/How/Where) is ... (name) 【音読み】	【知識】 He (She) is ... や How (What) is ... を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 He (She) is ... や How (What) is ... を用いた文の理解をもとに、身近な人やものについて、伝えたり、たずねたりする技能を身につけている。	【知識】 身近な人やものについてよりよく知るために、身近な人のことや好きなこと、どのようなものかについての紹介や質問に答えることなどについて、簡単な疑問句や文を用いて質問で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	【知識】 身近な人やものについてよりよく知るために、身近な人のことや好きなこと、どのようなものかについての紹介や質問に答えることなどについて、簡単な疑問句や文を用いて質問で伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	・テキスト、単元テスト ・英語活動への取り組み ・身近な人についての記事文、身近な人について質問できる。	11
	Unit 3 Our School Sounds and Letters 3	・学校生活について 【表現】 what, where, how, when, where を用いた疑問文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 what, where, how, when, where を用いた疑問文の理解をもとに、ものや人、方法や時、場所などについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。	【知識】 what, where, how, when, where を用いた疑問文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 what, where, how, when, where を用いた疑問文の理解をもとに、ものや人、方法や時、場所などについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。	【知識】 疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知るために、ものや人、方法や時、場所について、簡単な疑問句や文を用いて質問でたずねたり答えたりしている。	【知識】 疑問に思うことを解決したり、知らないものや人について知るために、ものや人、方法や時、場所について、簡単な疑問句や文を用いて質問でたずねたり答えたりしようとしている。	・英語活動への取り組み ・知らないものや人について、質問するときに質問できる。 ・テキスト、単元テスト	11
	Unit 4 Friends in New Zealand Sounds and Letters 4	・相手の具体的な状態、支持/勧告 【表現】 How many ...? や What ...? の疑問文、命令文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 How many ...? や What ...? の疑問文、命令文の理解をもとに、数や時間、することなどについてたずねたり答えたり、指示や勧告をしたりする技能を身につけている。	【知識】 How many ...? や What ...? の疑問文、命令文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 How many ...? や What ...? の疑問文、命令文の理解をもとに、数や時間、することなどについてたずねたり答えたり、指示や勧告をしたりする技能を身につけている。	【知識】 おたがいのことをよりよく知るために、数や時間、することなどについて、簡単な疑問句や文を用いて質問でたずねたり答えたり、指示や勧告をしたりしている。	【知識】 おたがいのことをよりよく知るために、数や時間、することなどについて、簡単な疑問句や文を用いて質問でたずねたり答えたり、指示や勧告をしたりしようとしている。	・英語活動への取り組み ・数や時間など、質問するために質問できる。 ・テキスト、単元テスト	10
	Stage Activity 1 "All about Me" Poster	・つなぐの活動文章を書くこと 【表現】 Unit 4までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 Unit 4までの学習事項を用いて、つなぐの活動文章を書く技能を身につけている。	【知識】 Unit 4までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 Unit 4までの学習事項を用いて、つなぐの活動文章を書く技能を身につけている。	【知識】 自分を知ってもらうために、自分が好きなことについて情報を整理してつなぐの活動文章でポスターを書いている。	【知識】 自分を知ってもらうために、自分が好きなことについて情報を整理してつなぐの活動文章でポスターを書こうとしている。	・英語活動への取り組み ・相手に自分のことを知ってもらうために、相手に知らない自分のことなどを詳しく伝えることができる。 ・單元末の活動	3
	夏休みの思い出を伝え合おう	・夏休みにしたことなどについて 【表現】 Stage Activity 1の内容を活用する	【知識】 夏休みの思い出について、簡潔な表現などを用いて伝え合う技能を身につけている。	【知識】 おたがいのことをよりよく知るために、夏休みにしたことについて、簡単な疑問句や文を用いて他日記を長文にしている。	【知識】 おたがいのことをよりよく知るために、夏休みにしたことについて、簡単な疑問句や文を用いて他日記を書こうとしている。	・英語活動への取り組み ・夏休みにしたことなどについて詳しく伝えることができる。 ・單元末の活動	2
	Unit 5 My Brother in Hawaii Scene 1 Real Life English	・身近な人やものについて 【表現】 三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 三人称単数現在形の文の理解をもとに、自分と身近な人やものなどについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。	【知識】 三人称単数現在形の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 三人称単数現在形の文の理解をもとに、自分と身近な人やものなどについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。	【知識】 クラスメイトなど身近な人の能力をほかの人に比べてもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な疑問句や文を用いて話している。	【知識】 クラスメイトなど身近な人の能力をほかの人に比べてもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な疑問句や文を用いて話そうとしている。	・英語活動への取り組み ・人について話す表現文、好きなことや得意なこと、最近習得したことを書くことができる。 ・テキスト、単元テスト	11
	Unit 6 A Rakugo Performance from the U.K. Scene 2 Real Life English	・自分と自分以外の人のことについて 【表現】 代名詞や関係詞 which を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 代名詞や関係詞 which を用いた文の理解をもとに、人やものについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。	【知識】 代名詞や関係詞 which を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 代名詞や関係詞 which を用いた文の理解をもとに、人やものについてたずねたり答えたりする技能を身につけている。	【知識】 自分と自分以外の人のことなどについて知るために、有名な人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な疑問句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	【知識】 自分と自分以外の人のことなどについて知るために、有名な人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な疑問句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	・英語活動への取り組み ・「日本といえば」をテーマに、発表することができる。 ・テキスト、単元テスト	11

後期	Unit 7 An Online Tour of the U.K. Scene 3 Real Life English	・知っていることについて (現在進行形、感情の高ぶり) ・道案内	〔知識〕現在進行形を用いた文や感情文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕現在進行形を用いた文や感情文の理解をもとに、人が知っていることについてたずねたり答えたり、感情や気持の表現を伝え合う技能を身につけている。	標準に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一環として、ことや施設や街並みの説明や、等質や数量を伝えながら、事実や感情などを整理し、簡単な語句や文を用いて説明している。	標準に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一環として、ことや施設や街並みの説明や、等質や数量を伝えながら、事実や感情などを整理し、簡単な語句や文を用いて説明している。	・英語活動への取り組み ・イギリスについて知ることや旅行に備えてあることを英語で伝えることができる。 ・小テスト、单元テスト	12
	Unit 8 Think Globally, Act Locally Scene 4 Real Life English	・したいこと、する必要があること (～すること) ・レストランでの注文	〔知識〕不定詞(名詞的用法)や(look+形容詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕不定詞(名詞的用法)や(look+形容詞)を用いた文の理解をもとに、したいことや人々の行動について伝えたり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	標準に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一環として、ことや施設や街並みの説明や、等質や数量を伝えながら、事実や感情などを整理し、簡単な語句や文を用いて説明している。	標準に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一環として、ことや施設や街並みの説明や、等質や数量を伝えながら、事実や感情などを整理し、簡単な語句や文を用いて説明している。	・英語活動への取り組み ・身の回りの環境点について、英語でまとめることができる。 ・小テスト、单元テスト	11
	Stage Activity 2 "My Hero"	・好きな有名人やあなたが憧れる人について(ほとんどの文章)	〔知識〕Unit 8までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕好きな有名人やあなたが憧れる人について、Unit 8までの学習事項を用いて、どんな人かを説明したり、その人についてたずねたり説明したりする技能を身につけている。	好きな有名人やあなたが憧れる人についての説明をして伝えたり、説明したりしている。	好きな有名人やあなたが憧れる人についての説明をして伝えたり、説明したりしている。	・英語活動への取り組み ・身の回りの環境点について、英語でまとめることができる。 ・小テスト、单元テスト	2
	Unit 9 Winter Vacation Scene 5 Real Life English	・過去の出来事 (過去形) ・校則がき	〔知識〕一般動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕一般動詞の過去形を用いた文の理解をもとに、過去の出来事について伝えたり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートとを休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて説明で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	おたがいのことをよりよく知るために、クラスメートとを休みの出来事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて説明で伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	・英語活動への取り組み ・自分ができるように冬休みの過ごし方、まとめて伝えることができる。 ・小テスト、单元テスト	11
	Unit 10 This Year's Memories Scene 6 Real Life English	・過去の出来事や思い出 ・過去のある時点で行ったこと (be動詞過去形、過去進行形) ・病院でのやり取り	〔知識〕be動詞の過去形や過去進行形、There is (are) ...を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕be動詞の過去形や過去進行形、There is (are) ...を用いた文の理解をもとに、過去の出来事や思い出、過去のある時点で行ったことなどについて伝えたり、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	日本の出来事や行事での思い出を話すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書いている。	日本の出来事や行事での思い出を話すために、体験したことや感じたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて日記を書いている。	・英語活動への取り組み ・1年間を振り返って、思い出や自分の気持ちをまとめて伝えることができる。 ・小テスト、单元テスト	12
	Learning Literature in English	・読書のあるすじを理解すること	〔知識〕物語の文章構成を理解している。 〔技能〕物語の文章構成の理解をもとに、物語のあるすじを理解する技能を身につけている。	物語を楽しんで読むために、物語の文章構成を整理することによって話の展開を捉えたり、話のアレンジしたりしている。	物語を楽しんで読むために、物語の文章構成を整理することによって話の展開を捉えたり、話のアレンジしたりしている。	・英語活動への取り組み ・思い出に残った出来事について、発表することができる。 ・小テスト、单元テスト	1
	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year	・1年間でできたこと (ほとんどの文章)	〔知識〕Unit 10までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕1年間で思い出に残った出来事について、Unit 10までの学習事項を用いて発表する技能を身につけている。	1年間で思い出に残った出来事について、情報を整理したり感想を考えたりしながら原稿を作成し、発表のポイントを確認して話している。	1年間で思い出に残った出来事について、情報を整理したり感想を考えたりしながら原稿を作成し、発表のポイントを確認して話している。	・英語活動への取り組み ・思い出に残った出来事について、発表することができる。 ・小テスト、单元テスト	3

Let's Read Gon, threw Fox	・【物語】場面や登場人物の心情を把握すること、気持ちを含めて音読すること	・【知識】時間や場面と心情の変化を捉えた読み方を理解している。 ・【技能】時間の経過や場面と心情の変化を捉えた読み方の理解をもとに、物語の場面や登場人物の心情の変化を捉える技能を身につけている	物語を楽しんで鑑賞するために、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを含めて音読したりしている。	物語を楽しんで鑑賞するために、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを含めて音読したりしようとしている	・活動音読への取り組み状況 ・音読指導して、習字に在るための見本を考へ、発表することが出来る。 ・イラスト、単語テスト	3
						126
評価の重み付け		33%	33%	33%		
観点別評価規準	A:教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……………達成率80%以上 B:教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……………達成率50%以上80%未満 C:教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……………達成率50%未満					
評価の基準	5:十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも……………90%以上の達成率である場合 4:十分満足できると判断されるもの……………80%以上90%未満の達成率である場合 3:おおむね満足できると判断されるもの……………50%以上80%未満の達成率である場合 2:努力を要すると判断されるもの……………20%以上50%未満の達成率である場合 1:一層努力を要すると判断されるもの……………20%未満の達成率である場合					

学期	単元	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	【地理分野】 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿	①緯度と経度、大陸と海洋の分布、世界の地域構成を大観し理解する。 ②大陸と海洋の分布や主要な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ③世界の多様な文化の分布について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。	・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主要な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート	5
	第2章 日本の姿	①我が国の国土の位置、世界各大陸との時差、領域の範囲や変化と日本の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化と日本の位置を基に、日本の地域構成を大観し理解している。	・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート	5
	第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	①人々の生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、与えたりすることを理解する。生活の営みと環境との関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。 ②生活の特色や環境の特色を、生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ③世界の各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ・世界各地における人々の生活やその環境の多様性を理解している。その際、世界の主要な国の分布についても理解している。	・世界各地における人々の生活の特色やその環境の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート	10
	【歴史分野】 1章 歴史のとなえ方・調べ方 2章 原始・古代の日本と世界	①世界の各地で文明が営まれたこと、東アジアの文明の発展を受けながら我が国で発展してきたことと理解する。 ②日本列島における縄文時代、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の発展の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ③古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 ・資料から歴史に関する情報を読みとったり、年表などにまとめたりの技能を身に付けている。 ・世界の各地で文明が営まれたこと、東アジアの文明の発展を受けながら我が国で発展してきたことと理解している。	・日本列島における国家形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の発展の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・古代までの日本を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート	23
後期	【地理分野】 第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第1節 アジア 第2節 ヨーロッパ	①アジア州・ヨーロッパ州に暮らす人々の生活と環境、地域的な特色を大観し理解する。 ②アジア州・ヨーロッパ州に見られる地域的な特色や環境の特色を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的な特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③アジア州・ヨーロッパ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	・アジア州とヨーロッパ州に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえてアジア州全体の地域的な特色や環境を理解している。 ・ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的な特色を大観し、EU統合や文化の多様性に関わる課題が地域の特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する。	・他地域との結びつきに着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・他地域との結びつきや地域などに着目して、EU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的な特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究しようとしている。 ・日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的な特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート	15
	第3節 アフリカ 第4節 北アメリカ	①アフリカ州・北アメリカ州に暮らす人々の生活と環境、地域的な特色を大観し理解する。 ②アフリカ州・北アメリカ州に見られる地域的な特色や環境の特色を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的な特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③アフリカ州・北アメリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	・アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べまとめている。 ・多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しまとめている。	・一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追究し、そのような貿易形態の問題点を多面的・多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。 ・北アメリカ州の地域的な特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。	・モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的な特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。 ・世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート	12
	第5節 南アメリカ 第6節 オセアニア	①南アメリカ州・オセアニア州に暮らす人々の生活と環境、地域的な特色を大観し理解する。 ②南アメリカ州・オセアニア州に見られる地域的な特色や環境の特色を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的な特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ③南アメリカ州・オセアニア州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	・多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長を遂げた国とそうでない国とが共存する地域的な特色を理解し、経済発展の一方で、経済格差などの問題が生じていることを、資料から調べまとめている。 ・オセアニア州の自然環境について理解し、地帯や気候の特色をオーストラリア大陸と、ミクロネシア、ポリネシア、メラネシアの4地域に分けてまとめている。	・近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。 ・オーストラリア大陸の都市や人口の分布の特色を地形や気候の特色と関連付けて多面的・多角的に考察しているとともに、ツバルの海面上昇の問題やその解決について多面的・多角的に考察している。	・多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的な特色と農産物や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。 ・白豪主義から多文化社会への転換やアジアとの結びつきに着目させながら、持続可能なオセアニア州の在り方について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート	8
	【歴史分野】 3章 中世の日本と世界 1節 武家政治の始まり	①鎌倉幕府の成立などを基に、武士が台頭して武家政治が成立したことを理解する。 ②武士の政治への進出と源平の争い、鎌倉幕府の成立と中世の社会の発展との関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	・鎌倉幕府の成立、鎌倉時代の文化や仏教などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、武士が台頭して主従の結びつきや武士を背景とした武家政治が成立したことなどを理解している。	・武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、武家政治の特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。	・武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれてきた社会や文化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート	7
	【歴史分野】 3章 中世の日本と世界 2節 ユーラシアの動きと武家政治の変化	①元寇がユーラシアの動きの中で起こったこと、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、東アジアの動きと中世の社会の発展との関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。 ②元寇の政治的展開、東アジアの交流、諸産業の発展などに着目して、中世の社会の発展の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 ③ユーラシアの動きと武士の政治の展開について、主体的に追究しようとする態度を身に付ける。	・元寇の襲来や、南北朝の争いと室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、元寇の襲来がユーラシアの動きの中で起こったことや、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりがみられたことを理解している。	・モンゴル帝国(元)の拡大の様子や、武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、この時代の武家政治の動きとその特徴や、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。	・武家政治の変化と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査、小テスト、課題プリント、ワークシート、ワーク教材、ノート	10
評価の重み付け			33%	33%	33%		
観点別評価規準			A:教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……達成率80%以上 B:教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……達成率50%以上80%未満 C:教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……達成率50%未満				
評価の基準			5:十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの……90%以上の達成率である場合 4:十分満足できると判断されるもの……80%以上90%未満の達成率である場合 3:おおむね満足できると判断されるもの……50%以上80%未満の達成率である場合 2:努力を要すると判断されるもの……20%以上50%未満の達成率である場合 1:一層努力を要すると判断されるもの……20%未満の達成率である場合				

学 期	単 元	学習の内容	評価規準			評価方法	時 数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前 期	単元1 いろいろな生物の共通点	生物を観察するとき、どのような特徴に注目して、どのような方法で観察すればよいか考える。 生物を分類するとき、どのような特徴に注目して分類することができるか考える。 植物を分類するときには、どのような共通点や相違点に注目すればよいか考える。 実や種子は、花のどのつくりと関係しているか調べる。 果実をつくらない植物には、果実をつくる植物と比べると、どのような特徴があるか考える。 種子をつくらない植物のからだのつくりとふえ方には、どのような特徴があるか調べる。 植物を分類するときには、どのような特徴を図や表にまとめる。 実や種子は、花のどのつくりと関係しているか調べる。 動物を分けるとき、どのような共通点と相違点に注目すればよいか考える。 セキツイ動物はどのようなグループに分類できるか考える。 無セキツイ動物は、からだにどのような特徴があり、どのように分類できるか考える。 どのような表や図をつくると、動物を適切に分類できるか考える。	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、動物のからだの共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の観察と分類のしかたについての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 植物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 動物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	主体的に学習に取り組む態度 生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。 植物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。 動物のからだの共通点と相違点に関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	・行動観察 ・発言分析 ・記述分析 ・定期考査 ・ワークシート ・提出物	24
	単元2 身のまわりの物質	物体が何という物質でできているかを見分けるには、どのような方法があるか考える。 金属と非金属の性質のちがいを調べる。 さまざまな金属を見分けるには、どうしたらよいか考える。 見ただけでは見分けにくい粉末状の物質の種類を知るには、どのようにしたらよいか考える。 身のまわりの気体にはどのような性質があるか調べる。 気体の性質によって、気体の集め方はどのように変えたらよいか考える。 物質が水にとけるとは、どのようになることが考えられる。 水にとけている溶質をとり出すため、水を蒸発させる以外にどのような方法があるか調べる。 身のまわりの物質も水のように変え変えるか考える。 物質が状態変化するとき、体積や質量はどうなるか調べる。 液体どうしが混じり合った混合物を分けるには、どのようにすればよいか調べる。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、気体の発生とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 水溶液について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 状態変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	物質のすがたに関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 物質のすがたに関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 水溶液に関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 状態変化に関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	・行動観察 ・発言分析 ・記述分析 ・定期考査 ・ワークシート ・提出物	24
後 期	単元3 身のまわりの現象	物体を見ることができるとき、光はどのように目に届いているか考える。 光が鏡などの物体で反射するとき、光はどのように進むか調べる。 光が透明な物体を通りぬけると、光はどのように進むか調べる。 凸レンズによる像のつき方には、どのような決まりがあるか調べる。 振動している物体から出ている音は、どのように伝わるか考える。 音の大きさや高さや音源の振動には、どのような関係があるか調べる。 力は、どのようなたらきをするか考える。 ばねを引く力とばねののびには、どのような関係があるか調べる。 物体にはたらく力は、どのように表すことができるか考える。 2つの力が1つの物体にはたらいているのに物体が動かないとき、2つの力にはどのような関係があるか調べる。	光に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきなどについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 光に関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	光について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらきから規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 音について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 力のはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	光に関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 音に関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 力のはたらきに関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	・行動観察 ・発言分析 ・記述分析 ・定期考査 ・ワークシート ・提出物	23
	単元4 大地の変化	身近な地形や地層、岩石を観察し、その特徴を記録する。 マグマの性質と火山の形との関係があるのか考える。 火山原がどのような物でできているか調べる。 火成岩の色やつくりについて調べ、ちがいがなぜ生じるか考える。 震源で発生したゆれが、どのようにして伝わるか調べる。 地震は、どのようなところでどのようにして起こるか考える。 地震によって起こる被害を最小限におさえるためにはどのようなことが必要か考える。 力、砂、泥がどのようにして地層をつくるか考える。 それぞれの堆積岩はどのような特徴があるか調べる。 地層や化石から、どのようなことがわかるか考える。 海底でできた地層が見られる山脈や山地は、どのような力でつくられるか考える。 地層から大地の歴史を知るには、どのようなことを調べてまとめればよいか考える。	大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、火山活動と火成岩、自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層の伝わり方と地球内部のはたらき、地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、地層のなりと過去のようすについて基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	身近な地形や地層、岩石の観察について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層のなり方や伝わり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 火山、自然のめぐみと火山災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地下のマグマの性質と火山の形との関係性、自然のめぐみと火山災害の火山活動の仕組みとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 地震、地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性、地震災害と地震発生との仕組みとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 地層のなりと過去のようすについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層のなり方や伝わり方の規則性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	身近な地形や地層、岩石の観察に関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 火山、自然のめぐみと火山災害に関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 地震、地震災害に関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 地層のなりと過去のようすに関する事物・現象に進んでから、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。	・行動観察 ・発言分析 ・記述分析 ・定期考査 ・ワークシート ・提出物	24
評価の重み付け			33%	33%	33%		
観点別			A:教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの……達成率80%以上				
評価規			B:教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの……達成率50%以上80%未満				
準			C:教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの……達成率50%未満				
評価			5:十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも……90%以上の達成率である場合				
の基			4:十分満足できると判断されるもの……80%以上90%未満の達成率である場合				
準			3:おおむね満足できると判断されるもの……50%以上80%未満の達成率である場合				
			2:努力を要すると判断されるもの……20%以上50%未満の達成率である場合				
			1:一層努力を要すると判断されるもの……20%未満の達成率である場合				

学期	題材	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	【創作】 「こんにちは」から音楽をつくる	●音楽材を生かし、構成を工夫して音楽をつくる。	[知] 音楽材の特徴及び音の量なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	音色、テクスチャ、情緒を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	音楽材の特徴及び音の量なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
	【歌唱】 曲想を捉えて歌おう: 「We'll Find The Way」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・教科書書込み ・発表 ・定期考査	3
	【器楽】 リズムのいろいろな量なり方を楽しもう: 「ラッピングラップンディ」第1巻	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、全体の響きや各声部の音、拍者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽表現を創意工夫して演奏する。	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・教科書書込み ・発表 ・定期考査	3
	【歌唱】いろいろな歌に挑戦しよう: 民謡、謡、ラブソング	●声の音色や響き及び音楽の特性と曲想に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	[知] 声の音色や響き及び音楽の特性と曲想に応じた発声との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	声の音色や響き及び音楽の特性と曲想に応じた発声との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
	【創作】日本語を拍にのせて踊ろう・歌おう	●日本語の特性を理解し、日本語を拍として効果的に伝える創作表現を工夫する。	[知] 日本語の特性を生かした拍へののせ方について理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	日本語のリズムや語感を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	日本語の特性やリズム、語感に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	7
	【鑑賞】民謡ってなんだろう? 日本の民謡、アジアの民謡	●音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、および我が国や舞臺の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特性と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 ●生活や社会における音楽の意味や役割、および音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や舞臺の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特性と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	音色、リズム、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や舞臺の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特性と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
後期	【器楽】 声部の役割を理解し、全体の響きを感じ取って音楽しよう: 「魔界」	●楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、全体の響きや各声部の音、拍者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽表現を創意工夫して演奏する。	[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わり及び声部の役割について理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	楽器の音色や響きと奏法との関わり及び声部の役割と全体の響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
	【創作】 作業に集中して、自分のソングをつくる	●音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して旋律をつくる。	[知] 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
	【鑑賞】 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、音楽のよさを味わって聴こう: 「魔王」	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
	【歌唱】 日本の歌のよさや美しさを 感じ取って歌おう: 「赤とんぼ」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	2
後期	【歌唱】 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、表現を工夫して歌おう: 「カピタ夢の鼓」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら拍者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、旋律、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3

学期	題材	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	【音楽】楽器の特徴や役割を生かして演奏しよう：京囃子	●楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、各声部の音と全体の響きとを意識しながら、器楽表現を創意工夫して演奏する。	[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使用などの技能を身に付け、器楽で奏している。	音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感覚したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、合奏で生まれるテクスチャを楽しみながら主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	3
	【音楽】生活から生まれた音楽：いろいろな京囃子	●生活や社会における音楽の意味や役割、および音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	音色、リズム、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感覚したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・記述 ・発表 ・定期考査	2
評価の重み付け			33%	33%	33%	時数計	35
観点別評価規準		A: 教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの………達成率80%以上 B: 教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの………達成率50%以上80%未満 C: 教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの………達成率50%未満					
評価の基準		5: 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも………90%以上の達成率である場合 4: 十分満足できると判断されるもの………80%以上90%未満の達成率である場合 3: おおむね満足できると判断されるもの………50%以上80%未満の達成率である場合 2: 努力を要すると判断されるもの………20%以上50%未満の達成率である場合 1: 一層努力を要すると判断されるもの………20%未満の達成率である場合					

学期	題材	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	手のスケッチ	身近な手のスケッチにより、美しさやよさを感じ取り、生み出した主題をもとに、用具の用い方を工夫して、あらわす。	・形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、身近な手を全体のイメージで捉えることを理解している。 ・自分のあらわしたいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわしている。	身近な手を見つめ、感じ取った特徴や、自分の思いなどをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近な手を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・作品 ・定期考査	2
	江戸の美術の面白さ —作品鑑賞—	江戸時代の美術の造形的な特徴について見方や感じ方を広げて、そのよさや美しさを感じる。	形や色、余白や遠近感による構成や構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、絵のテーマを全体のイメージで捉えることについて理解している。		美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく作品から自分なりの物語を想像する。鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・鑑賞ワークシート ・定期考査	5
	スケッチブックから広がる —静物スケッチ—	絵の具などを用いた、身近なもののスケッチにより、美しさやよさを感じ取り生み出した主題をもとに、用具の用い方を工夫して、自分のあらわしたいものをあらわす。	・形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・自分のあらわしたいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわしている。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴や、ものに託した自分の思いなどをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを描く表現の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査	10
	色は楽しい —色の学習—	色の基本的な理論と表現技法を理解し、色彩感覚を身に付け、自分の作品に効果的に活用することができる。	・色が見る人に与える効果について理解している。 ・色の効果的な活用方法を身に付けている。		美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく色を工夫する学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・定期考査	3
	心ひかれるこの風景 —風景面制作— (夏季休業中の課題)	心ひかれる風景を絵の具であらわすことに心をもち、感じ取ったことや自分の気持ちなどから主題を生み出す。主題をもとに、材料や用具を工夫して、意図に応じてあらわす。	・身近な風景の形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、心ひかれる風景を全体のイメージで捉えることについて理解している。 ・自分のあらわしたい気持ちや、描きたいイメージに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわしている。	自分が心ひかれる風景を見つけ、そのときの気持ちなどをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自分が心ひかれる風景を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・作品 ・定期考査	1
後期	ずっと木といっしょに —木工制作—	木工芸に関心をもち、用途や機能、使う人の気持ち、木の特性などをもとに主題を生み出す。主題をもとに、意図に応じて用具を工夫してあらわす。	・形や色、材料などの性質や感情にもたらす効果、造形的な特徴などをもとに、木でつくられた作品を全体のイメージで捉えることについて理解している。 ・木工芸の材料や用具を生かし、制作の順序を考え、見通しをもって工夫してあらわしている。	用途や機能、使う人の気持ちを考え、主題を生み出し、木の特徴の理解にもとづき、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく木を使って用途や機能、使う人の気持ちを考え、作品をつくる表現の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査	12
	デザインって何だろう	気持ちを印象的に伝えるデザインに関心をもち、伝える相手や伝えたい気持ちをもとに主題を生み出す。	・形や色、材料の性質などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、気持ちを伝えるデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもってあらわしている。	伝える相手や、伝えたい気持ちをもとに主題を生み出し、伝えたい内容を形にあらわす工夫と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に多くの人が使いやすい形や材料について考え、工夫してあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・ワークシート ・作品 ・定期考査	8
評価の重み付け			33%	33%	33%		
観点別評価規準			A:教科の目標に照らして十分に満足できると判断されるもの………達成率80%以上 B:教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの………達成率50%以上80%未満 C:教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの………達成率50%未満				
評価の基準			5:十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの………90%以上の達成率である場合 4:十分満足できると判断されるもの………80%以上90%未満の達成率である場合 3:おおむね満足できると判断されるもの………50%以上80%未満の達成率である場合 2:努力を要すると判断されるもの………20%以上50%未満の達成率である場合 1:一層努力を要すると判断されるもの………20%未満の達成率である場合				

令和7年度 年間指導・評価計画（保健体育科）第7学年

学 期	単 元	学習の内容	評 価 規 準			評価方法	時 数
			知識・技能（運動）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前 							

後 期	ソフトボール バレーボール (どちらか1つ)	個人技能 バット操作【ソフトボール】 (振り・テイクバック・インパクト) ボール操作【バレーボール】 (パス・スパイク・サーブ・ブロック) チーム戦術 試合・審判法	・球技の特性や成り立ち、関連して高まる体力について理解している。 ・技術の名称や行い方を理解している。 ・ルールを理解している。	・攻防を展開するための基本的なバット操作、走塁、ボール操作を行うことができる。【ソフトボール】 ・安定したボール操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開することができる。【バレーボール】	・攻防等の自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に積極的に取り組みフェアなプレイを守ることができる。 ・作戦等の話し合いに積極的に参加することができる。 ・分担した役割を果たそうとすることができる。	授業観察 学習カード 定期考査	8
	陸上競技	長距離走	・陸上競技の特性や成り立ち、関連して高まる体力について理解している。 ・技術の名称や行い方を理解している。 ・ルールを理解している。	・自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら一定の距離を走り通し、タイムを短縮することができる。 ・自己の最大スピードを高め、滑らかな動きで速く走ることができる。 ・バトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができる。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・陸上競技に積極的に取り組むことができるとともに勝敗などを認めルールやマナーを守ろうとすることができる。 ・分担した役割を果たそうとすることができる。	授業観察 学習カード 定期考査	7
	武道	柔道 礼法・基本動作 受け身 固め技・投げ技	・武道の特性や成り立ちについて理解している。 ・伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力について理解している。	・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防を行うことができる。	・攻防等の自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・相手も尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすることができる。 ・禁じ技を用いない等、健康安全に気を配ることができる。	授業観察 学習カード 定期考査	7
	水泳 (男女別)	泳法 クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ スタート及びターン	・水泳の特性や成り立ち、関連して高まる体力について理解している。 ・技術の名称や行い方を理解している。 ・ルールを理解している。	・各泳法で手と足の動作と呼吸のタイミングを合わせて泳ぐことができる。 ・水中でプールの壁を蹴り抵抗の少ない流線型の姿勢で浮き上がりのためのキックを用いて速い速度で泳ぎ始めることができる。 ・回転系や巧技系の技を滑らかにを行い、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができる。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・水泳に積極的に取り組むことができるとともに勝敗などを認めルールやマナーを守ろうとすることができる。 ・水泳の事故防止に関する心得を遵守し、健康安全に気を配ることができる。	授業観察 学習カード 定期考査	10
	バスケットボール ハンドボール (どちらか1つ)	現代的なリズムのダンス 個人技能・戦術 (シュート・パス・ディフェンス) チーム戦術 (オフェンス・ディフェンス) 試合・審判法	・球技の特性や成り立ち、関連して高まる体力について理解している。 ・技術の名称や行い方を理解している。 ・ルールを理解している。	・安定したボール操作で一定の時間内に得点することができる。 ・空間に仲間と連携した動きで走り込み、ゴール前での攻防を展開することができる。	・攻防等の自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に積極的に取り組み、フェアなプレイを守ることができる。 ・作戦等の話し合いに積極的に参加することができる。 ・分担した役割を果たそうとすることができる。	授業観察 学習カード 定期考査	9
	保健 (男女別)	心身の機能の発達と心の健康 精神機能の発達と自己形成 欲求やストレスへの対処と心の健康	・生活経験などの影響を受けて発達する精神機能について理解している。 ・自己の認識の深まりと自己形成について理解している。 ・精神と身体の影響について理解している。 ・欲求やストレスの心身への影響と適切な対処について	・心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。	・心身の機能の発達と心の健康について自分事として捉え、学習に積極的に取り組むことができる。	授業観察 ノート 定期考査	7	
評価の重み付け			33%	33%	33%			
観点別評価基準		A：教科の目標に照らして十分満足と判断されるもの・・・達成率80%以上 B：教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの・・・達成率50%以上80%未満 C：教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの・・・達成率50%未満						
評価の基準		5：十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの・・・90%以上の達成率である場合 4：十分満足できると判断されるもの・・・80%以上90%未満の達成率である場合 3：おおむね満足できると判断されるもの・・・50%以上80%未満の達成率である場合 2：努力を要すると判断されるもの・・・20%以上50%未満の達成率である場合 1：一層努力を要すると判断されるもの・・・20%未満の達成率である場合						

令和7年度 年間指導・評価計画（技術科）第7学年

学期	単元	学習の内容	評価規準			評価方法	時数
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	ガイダンス	1) 技術と私たちの生活 2) 技術分野の学習・ ・技術と生活、環境との関わりを考えさせる。		・技術と生活の関わりから豊かな生活について考えを深めている。	・技術の学習への見通しをもち、これからの学習について意欲をもって取り組もうとしている。	授業への取り組み 定期考査	1
	材料と加工に関する技術	身の回りの製品の設計 1) 製図と構想のまとめ 2) さまざまな材料の特徴、材料と環境 3) 設計の進め方 4) 製品の目的と機能、構造 5) 材料と加工法 ・技術が生活の向上と産業の発展に果たす役割を考える。 ・材料の特徴と利用方法を知る。 ・使用目的に即した機能と構造について考えることができる。 ・構想の表示方法を知り、設計図をかくことができる。	・木材、金属、プラスチックなどの材料の特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 ・製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 ・製作図の見方、描き方の知識を身に付けている。 ・製作品の構想をまとめることができ、図に描き表すことができる。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、材料、使いやすさ、丈夫さを検討し適切な形状や寸法を決定している。	・環境や作業の安全に配慮して製作工程を確認しながら取り組んでいる。 ・常に正しい作業と作業効率を考え、製作を進めている。	提出物 授業への取り組み 定期考査 実技	10
							7

後 期	材 料 と 加 工 に 関 する 技 術	身の回りの製品の製作	・材料にあった加工法や製作の進め方の知識を身に付けている。	・加工に関する課題を明確にしながら製作を進め、適切な解決策を見いだしている。	・環境や作業の安全に配慮して製作しようとしている。	提出物	1
		6) 部品表と製作工程表、製作の準備	・製作図をもとに、けがき、部品加工、組み立て、仕上げができる。		・常に正しい作業と作業効率を考え、製作を進めている。	授業への取り組み	
		7) けがき				定期考査	2
		8) 切断				実技	7
		9) 切削					
		10) 部品の検査、組み立て					5
		11) 接合、点検					
		12) 仕上げ					2
		・加工法と工具、機器の安全な利用ができる。					
		・工程表にそって製品の製作ができる。					
		・安全に作業が進められる。					
評価の重み付け			33%	33%	33%		
観点別評価規準			A：教科の目標に照らして十分満足と判断されるもの・・・達成率80%以上 B：教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの・・・達成率50%以上80%未満 C：教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの・・・達成率50%未満				
評価の基準			5：十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のも・・・90%以上の達成率である場合 4：十分満足できると判断されるもの・・・80%以上90%未満の達成率である場合 3：おおむね満足できると判断されるもの・・・50%以上80%未満の達成率である場合 2：努力を要すると判断されるもの・・・20%以上50%未満の達成率である場合 1：一層努力を要すると判断されるもの・・・20%未満の達成率である場合				

令和7年度 年間指導・評価計画（家庭科）第7学年

学期	学習の内容	評 価 規 準			評価方法	時数
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
前期	・ 目的に応じた衣服の選択 ・ 日常着の手入れと保管 ・ 生活を豊かにするものの製作	衣服と社会生活の関わり、日常着の手入れを理解している。 用具を適切に扱い、製作ができる。	衣服の選択や手入れについて解決策を構想している。 環境に配慮した衣生活を工夫している。	衣服の選択、手入れについて主体的に学習に取り組もうとしている。	提出物 作品 テスト	18
後期	・ 食事の役割と食習慣 栄養を満たす食事 ・ 食品の選択 ・ 日常食の調理 ・ 地域の食文化	食事の役割、栄養素の種類と働き、地域の食文化を理解している。 材料に適した加熱調理を理解している。	自分の食習慣や献立、食品の選択について解決策を構想している。 調理の仕方、和食の調理について解決策を構想している。	よりよい食生活の実現に向けて主体的に学習に取り組もうとしている。	提出物 テスト 作品	17
						35
評価の重み付け		33%	33%	33%		
観点別評価規準		A：教科の目標に照らして十分満足と判断されるもの・・・達成率80%以上 B：教科の目標に照らしておおむね満足できると判断されるもの・・・達成率50%以上80%未満 C：教科の目標に照らして努力を要すると判断されるもの・・・達成率50%未満				
評価の基準		5：十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの・・・90%以上の達成率である場合 4：十分満足できると判断されるもの・・・80%以上90%未満の達成率である場合 3：おおむね満足できると判断されるもの・・・50%以上80%未満の達成率である場合 2：努力を要すると判断されるもの・・・20%以上50%未満の達成率である場合 1：一層努力を要すると判断されるもの・・・20%未満の達成率である場合				